

各新聞、ラジオ等にこれを送りました。

©2022 IHAL, YITP, Kyoto University

京都大学基礎物理学研究所 湯川記念館史料室

おしらせ

報道関係各位に：

6月29日 1966

湯川秀樹、朝永振一郎、坂田昌一の三名を中心とする科学者京都会議は、今から四年前、京都嵯峨野でオ一回、その翌年広島竹原においてオ二回の会議を開き、また北軽井沢、比叡山、あるいは鎌倉で度々、平和時代創造のために勉強会を開催してきました。

（前10時）

さて今年（明）6月30日から7月2日まで三日間にわたってオ三回科学者京都会議が、神田の学士会館で開催されることになりました。会議のテーマは下記のように内定しております。

- (a) 科学者京都会議のあゆみ
- (b) 核兵器体系が最近どのように巨大化し、危険性を増してきたか
- (c) 核抑止政策の矛盾が戦術核兵器の普及によってどのようにあらわれてきているか
- (d) 平和の論理を確立するための政治理念の浮現

なお、十分な討議を経た上で、会議の終りにあたって（7月2日午後 時間には追って電話でお知らせします）声明が発表される予定であります。

（記者会見の席上）

従来通り、会議期間中の取材は御遠慮下さるようお願いいたします。会期中事務局は学士会館内におきます。

オ三回科学者京都会議
継続委員会事務局 長
豊田利幸

c093-002-003